

台湾において東北誘客プロモーションを行いました (2018年11月23日～11月26日)

台湾最大級の旅行博である「台北国際旅行博 (ITF2018)」〈会場：台北南港展覽館〉に出展し、東北の冬の魅力を中心としたPRを行いました。

前年からの会場変更や統一地方選挙等による客足の減少を懸念する声もありましたが、4日間の総来場者数は約37万7千人で、前年を約1万人上回りました。日本ゾーンが1階会場の入口付近という好位置であったことに加え、東北ブースはメイン通路に接し中央入口から近かったこともあり、連日多くのお客様で賑わいました。

東北ブースでは、パンフレットによる情報発信のほか、ステージでのイベントや各県のPR、オンラインでの旅行先診断やフェイスブックの登録イベント等を行いました。お客様からは、旅行先のオススメ時期やアクセス方法等の具体的な相談が多く寄せられ、リピーターの多い台湾において、新たな目的地としての東北の認知度の高まりを感じました。

今後、12月14～16日に台北市で開催される「日本東北遊楽日2018だいすき♡♡とうほく」等の機会も活用しながら、継続的に東北の情報発信を行い、さらなる誘客促進を図っていきます。



【ステージでの観光PR】



【東北ブースの様子】

マレーシアにおいて東北誘客プロモーションを行いました (2018年11月22日～11月24日)

中華系旅行会社6社、ムスリム系旅行会社3社に対し、セールスコールを実施しました。各社とも東北地方に対する興味関心が非常に高く、具体的な地名や観光スポットへの行き方などについて、詳細な質問をいただきました。

興味深いのは、マレーシア国内ではTVドラマ「おしん」が繰り返し放送されていたため、30代以上のマレーシア人は全員「おしん」を知っているであろうという情報です。「おしん」の舞台は山形県だとお伝えすると、銀山温泉や最上川を含めたモデルコースを求められました。

セミナーは、Quill City Mallというイオン系列のスーパーマーケットが入ったショッピングセンターの、日本食レストランを貸し切って行いました。訪日旅行に興味がある方、訪日リピーターの方々をお招きし、冬～春のコンテンツを中心に東北の情報発信を行いました。

来場者アンケートからは、冬のスノーコンテンツや温泉、春の桜、また東北ならではの美食コンテンツに興味をいただいていることが分かったため、今後のプロモーションに活かしていきます。



【現地旅行会社の皆さんと】



【セミナー会場】

新潟・神戸にて開催されたトラベルマートに参加しました

(2018年11月13日～14日新潟[EAST ASIA]・11月27日～28日神戸[ASEAN])

広域連携事業の一つである「旅行会社等と連携した誘客促進事業」の一環として、JNTOが主催するトラベルマートに参加し、東北観光の情報発信とともに東北の旅行商品の造成を働きかけてきました。

新潟で開催された東アジア市場（韓国、中国、台湾、香港）を対象とした商談会では、海外の旅行会社80社のうち40社が中国から参加されていましたが、中国現地で人気の海外旅行先第1位が日本となったことも相まって、あまり知られていない東北エリアに対して積極的に情報を求める姿勢が見て取れました。

今後もあらゆる機会を通じて、東北の旅行商品の造成を海外の旅行会社に対して積極的に働きかけていきます。

※「トラベルマート」とは

海外の旅行会社と日本の観光関係者（行政・DMO・旅館ホテル・観光施設等事業者）が一堂に会し、インバウンド関連ビジネスを創出する商談会のことです。



【商談会】

北海道の教育旅行関係者を招請しました（2018年1月20日～11月22日）

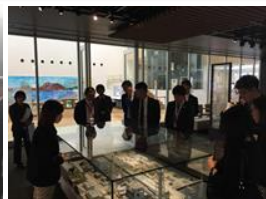
北海道旅客鉄道株式会社と連携し、北海道内の旅行会社社員（教育旅行担当者）を対象に、南東北への教育旅行誘致拡大を目的とした現地研修を実施しました。

今回は北海道内の旅行会社5社から、20代から50代まで経験年数も様々な8名の方々にご参加いただきました。コース設定は、ご参加の旅行会社からの要望により、南東北（福島・宮城）を周遊するコースとして実施しました。

各訪問先で実際に修学旅行で利用されるプログラムを体験していただいたほか、福島・宮城で開催した教育旅行相談会では、両県の教育旅行関係者と商談を行い、東北での教育旅行実施について理解を深めていただきました。東北への訪問が初めてとなる若手の方からは自身の学びの場となったこと、また既に来年の旅行計画のある方からは具体的なコース設定の参考になったとの声がありました。



【鶴ヶ城】



【福島環境創造センター】



【相談会】



【参加者の皆さん】

第5回フェニックス塾を開催しました（2018年11月29日～11月30日）

今年度第5回となる「フェニックス塾」を函館市で開催し、33名の塾生が参加しました。東北とも縁が深い函館市は日本でも有数の観光地で訪日外国人旅行者の来訪も多い地域であり、また9月に発生した北海道胆振東部地震の影響で客足が遠のいている現状も鑑み、観光面での学びの場、復興応援の機会として、当地で開催いたしました。

【11/29・第一部】セミナー

講師：沢登次彦氏（㈱リクルートライフスタイル じゃらんリサーチセンター長）

テーマ：「2030年観光の未来を予測する～2030年観光の未来需要予測研究より～」

【11/29・第二部】ワークショップ（グループディスカッション）

「東北に更に多くのインバウンドを誘致するには」をテーマにして話し合いました。

【懇親会】

東北観光推進機構 小縣会長、函館市観光部の方々も交えた懇親会を開催し、和やかに意見交換しました。

【11/30】

函館市観光部大泉部長から函館市の広域観光連携などの取り組みについてご講話をいただいた後、市の観光ボランティアガイドさんの案内のもと、伝統的建物群保存地区を歩き、魅力ある観光地をエクスカージョンし東北の観光地の磨き上げの参考といたしました。



【セミナー講師：沢登氏】



【旧函館区公会堂】



【八幡坂にて】

※「フェニックス塾」とは

オール東北の観点から東北の観光振興策を企画・立案する構想力と実行する行動力を持った人材を育成することを目的に、東北の観光にかかわる官、民、業種を超えた実務者層を対象に、セミナーやワークショップ等を開催している取り組みです。

第二回 函館・津軽・秋田広域観光推進協議会において紺野専務理事が講演をしました（2018年11月26日）

東日本旅客鉄道株式会社秋田支社からの依頼により、東北観光推進機構 紺野専務理事が表題協議会の第二部で「東北のインバウンドとALL東北での取り組み」と題して基調講演を実施しました。

当協議会は函館市と北東北エリアの更なる観光流動を図ることを目的に開催され、当日は函館市、青森市、弘前市、秋田市、能代市、横手市、大館市、男鹿市、大仙市、北秋田市、仙北市、小坂町の首長や観光関係代表者、北海道旅客鉄道函館支社長などが出席されました。紺野専務理事より、当機構の取り組み等を紹介しながら、地域が融合し、広域に連携して重層的に取り組む重要性についてお話をさせていただきました。



【講演会】

東北歴史文化講座を開催しました（2018年11月23日）

東北各県の魅力・歴史・文化などの独自性のあるテーマを掘り下げて、主に首都圏の方々に紹介する「東北歴史文化講座」を、会員企業の東日本旅客鉄道株式会社との共催で本年2月より開催しています。これまで第1回(2/17)は「国づくりに懸けた政宗の夢」(宮城県)、「青い森と海が育んだ縄文スピリッツ」(青森県)、第2回(7/21)は「古代秋田に轟いた蝦夷の“独立宣言”」(秋田県)、「奥州藤原氏が築いた東北の浄土」(岩手県)というテーマで、それぞれ講座を開講しました(会場は、東京駅近接のサピアタワー)。

11月23日にはこの第3回として、「“感じる知性”が導く修験道への道」(山形県)、「古戦場に秘められた会津戦争の真相」(福島県)というテーマで、東京秋葉原のベルサール秋葉原にて開講し、それぞれ約600名の方々にご集まりいただき、東北のより深い魅力を感じていただくことができました。



【講座会場】



【観光案内ブース】

福島県警と多言語電話通訳サービスの協定を結びました (2018年11月28日)

このたび福島県警察本部と「外国人観光客等の安全確保への相互協力に関する覚書」を締結しました。福島県では2020年東京オリンピック・パラリンピックで、野球・ソフトボール競技の一部が開催されるなど訪日外国人旅行者が急増することが予想されています。福島県における訪日外国人旅行者は2017年に約9万7千人と震災前の水準を超え、福島県警察としても旅行者の安全確保、事件や交通事故等に遭遇した際の迅速かつ適切な初動対応が重要であり、特に、日本語に不慣れな外国人旅行者の不安を解消するためには、さらなる通訳体制の強化等が急務でした。

そこで、当機構が提供する「多言語電話通訳サービス」に福島県警察の252施設を登録し、24時間365日の通訳体制を提供することで、道案内・落とし物・体調不良・交通事故・各種相談等様々な理由で交番、駐在所及び警察署等の警察施設に外国人が来所した場合の即時対応が可能となります。各自治体や日本政府観光局(JNTO)が提供するサービスと合わせて複合的かつ重層的な受入環境が整備されることとなります。

11月28日に福島県警察本庁内において覚書締結式を執り行い、当日は新聞社、TV局など18社のメディアが取材に来られました。

今後は電話受信内容(通訳内容)を分析し、東北各県に広がることを目指して、さらなるサービス内容の向上を図っていきます



【覚書締結式】

第3回6誘致協・6旅ホ連会議を開催しました（2018年11月2日）

第3回6誘致協・6旅ホ連会議を11月2日に開催しました。

各旅行会社の旅館ホテル連盟・協力店会の代表者、東北6県の観光誘致協議会の代表者の皆様にご集まりいただき、当機構の2019年度事業計画骨子案などについてご議論いただきました。

第6回理事会を開催しました（2018年11月15日）

当機構の第6回理事会を、11月15日にホテルメトロポリタン仙台において、開催いたしました。当日は、26名の当機構の理事・監事(代理含む)にご臨席いただき、11団体の新規入会の承認、2018年度の補正予算の審議、2018年度上期の事業報告、2019年度に向けた事業方針に対する意見交換を行いました。

なお、この理事会での承認により、当機構の会員数は205団体となりました。

※最新の会員リストはこちらからご覧ください。

<https://member.tohokukanko.jp/wp-content/uploads/2018/12/memberlist20181115.pdf>

今後開催予定のセミナー・イベントなど

第6回フェニックス塾（第一部セミナー）

【日時】2018年12月18日（火）
13:00～14:30
【会場】新潟市 メディアシップ 2階日報ホール
【内容】セミナー「デジタルマーケティングの活用と
プロモーションについて（仮）」
【講師】陳内裕樹氏（同）グーグル広告営業本部観光立国
推進部長、内閣官房クールジャパン地域プロデューサー）
【詳細・申込】どなたでもご聴講できます（無料）
<http://www.phoenix-school.com/entry0202/index.html>

第7回フェニックス塾（第一部セミナー）

【日時】2019年2月1日（金）
13:00～14:30
【会場】郡山市 郡山ビューホテル アネックス
【内容】セミナー「口コミ、SNSなどユーザー発信
時代のプロモーションについて（仮）」
【講師】牧野友衛氏
（トリップアドバイザー(株) 代表取締役）
【詳細・申込】どなたでもご聴講できます
（申込開始は1月下旬から・無料）
<http://www.phoenix-school.com/entry0202/index.html>

今後出展予定の海外旅行博・開催予定の海外イベント

- ・「日本東北遊楽日2018だいすき♡♥とうほく」
2018年12月14日（金）～16日（日）
- ・「上海における東北誘客プロモーション」
2019年1月中旬
- ・「フィリピン旅行博（Travel Tour Expo 2019）」
2019年2月8日（金）～10日（日）
- ・「タイ旅行博 TITF#24」
2019年2月13日（水）～17日（日）

※「フィリピン旅行博（Travel Tour Expo2019）」
のブース参加者を募集します。（当機構会員ののみ）

当機構は訪日意欲が旺盛なフィリピン（マニラ）にお
いて上記旅行博に出展し「桜と雪」をテーマに東北の観
光をPRします。当機構ブースへの参加をご希望の方は
12/28（金）までに下記の問合先にご相談ください。
（希望者多数の場合、参加をお断りする場合があります。なお、参加に
係る諸費用は全額自己負担となりますので予めご了承ください。）

訪日外国人旅行者の口コミを収集する取り組みにご協力をお願いします！

口コミ投稿を増やすには、口コミ投稿型サイトへの施設の基本情報の登録（「管理者（オーナー）登録」）や
訪日外国人旅行者の来訪時に口コミの投稿を呼びかけるなど、観光関係事業者の皆様のご協力が不可欠です。よ
り一層東北への集客を図るため、ご協力をお願いします。

- 口コミサイトへの「管理者（オーナー）登録」のススメ

<https://member.tohokukanko.jp/wp-content/uploads/2018/10/kuchikomi.pdf>

- 中華系口コミサイト【大衆点评】登録サポート（無料）のお知らせ

<https://member.tohokukanko.jp/wp-content/uploads/2018/10/dianpin-support.pdf>

東北観光推進機構が提供するサービスをぜひご活用ください！

多言語電話通訳サービス

外国人旅行者とうまくコミュニケーションが取れない
場合などに、コールセンターのオペレーターが電話
を介して通訳を行うサービスです。

【対象】東北6県および新潟県の観光関係事業者

※ただし、大型小売店、医療機関は対象外

【対応言語】日本語⇄英語・中国語・韓国語

【利用時間】24時間365日対応

【利用料金】無料 ※ただし、通話料金は利用者負担

【サービス受託事業者】株式会社テレコメディア

【申込】お電話またはFAXでお問い合わせください。
申込書をお送りします。

東北・新潟の周遊観光サポートアプリ

「DISCOVER TOHOKU JAPAN APP」

個人旅行者を主な対象に、東北6県および新潟県の
周遊観光をサポートするアプリを配信しています。

【対応言語】日本語・英語・中国語・タイ語

<App Store>

<Google Play>



「旅東北NEWS」VOL.003 2018年12月14日発行

【発行】一般社団法人東北観光推進機構

仙台市青葉区一番町2-2-13仙建ビル8階

【TEL】022-721-1291 【FAX】022-721-1293

【Email】info-ttpo@tohokutourism.jp



「東北観光推進機構」公式Facebook

東北6県・新潟県の旬の観光情報を配信中！

<https://www.facebook.com/tohokukanko/>

「いいね」「シェア」をよろしくお願いします！